

# 登山報告書

●目的地：道北 敏音知山&幌加内峠

●期日：2017年1月21日～22日

●目的：極寒のパウダーを滑る

●参加者

|     |       |     |                |
|-----|-------|-----|----------------|
| L:  | 日角 彰  | 64歳 | 札幌市            |
| SL: | 船木 上総 | 61歳 | 苫小牧市           |
| M:  | 丸谷 聖一 | 61歳 | 帯広市            |
| M:  | 高川 博敏 | 64歳 | 札幌市            |
| M:  | 井出 康太 | 30歳 | 北見枝幸町(敏音知のみ参加) |

21日(土) 札幌(5:00) = 中頓別道の駅(9:30~10:00) = 急斜面下部(11:00) = 南稜線(12:20) = 敏音知山(12:40~13:00) = 南西斜面滑降急斜面下部(13:20) = 道の駅下山(13:40) = 道の駅コテージ泊

22日(日) コテージ(7:00) = 幌加内峠トンネル手前駐車場(10:00~10:20) = c432m ポコ(11:00) = c480m ポコ(11:30) = 南斜面 380m(11:40) = c432m 登返し(11:55) = c480m ポコ(12:30) = 北東斜面滑降 c360m(13:00) = c440m 登返し(13:10) = 駐車場下山(13:40)

●地図・コース(次頁)



# 登山報告書

## ●行動詳細

1月21日（土）中頓別 天気高曇り、のち晴れ ピークからの滑降大成功と井出家との再会

上総の車1台で大移動することになった。まず、千歳長都駅で丸谷を拾い、新札幌で日角・高川ペアと合流して一路北上し、敏音知登山口の中頓別 道の駅を目指す。音威子府で井出君に連絡を入れ、9:30に道の駅で北見枝幸ジモティー井出君と再会する。

軽い新雪が15cm程積もる樹林の中を進む。先行者トレースがしっかりついているので利用したりしなかったりで急斜面下部に到着。ここからは30度以上の急斜面を登り、南に延びる稜線を目指す。

股関節が痛くなるほどの無限ジグを繰り返す、なんとか稜線にたどり着く。ここから南斜面の様子を伺うと大きなクラックが4本ほど入っており、ここは侵入しないこととした。しかし、先行ボーダーはここを3本ほど滑っているようだ。稜線からピークまでは20分ほどで到着し、大休止。選択肢としては北を滑るか西を滑るかというところ。登ってきた西斜面は雪の状況も安定しているようなので、北斜面も捨てがたいところだが、アンパイとして西斜面に決定。

ピークから一気の急斜面を小曲げで雪の様子を見ながら、稼いだ位置エネルギーを転げ落ちる感じでどんどん運動エネルギーに変えていく。雪は軽く締まったパウダーで気持ちが良い。テレマーカー井出君は手足が長いので見栄えがする。一気に標高差200mを滑って、小休止。登ってきた尾根をトラバース気味にやり過ごして、広い沢に出る。そこにも今日以前の先行者シュプールがあった。順調に高度を下げて2時前には登山口に帰ってきた。

コテージチェックインまで、まだ1時間以上あったので国道向かいのピンネシリ温泉で汗を流し、冷えた体をたっぷり・ゆっくり温める。フロントのお姉さんに聞くと、ここ2~3年、敏音知を滑りに来るボーダーやスキーヤーが増えているそうだ。バックカントリーブーム到来というところか。

通年営業のコテージは北海道では珍しい。我々の泊まったコテージは充分な広さと高い天井ときれいなキッチンと浴槽を備えた立派な一軒家で、入るとストーブのぬくもりが迎えてくれた。

夕食は日角家秘伝門外不出のみぞれ鍋を堪能。日角シェフ独擅場でありました。そうこうしているうちに井出康太・歩・凜御一行様が来訪。にぎやかな夕餉となった次第。

1月22日（日）幌加内峠 曇り、午後から雪

コテージをのんびりと7時に出発。豪雪寒冷の幌加内を目指す。幌加内峠のトンネル手前には広い駐車場があって、すでにBC目当てと思しき車が数台停まっている。登り出しがc220m目指すポコはc480mなので登りはゆっくり1時間半のペース。標高が低いので裏山の雰囲気だが、なんせ極寒の地。稜線上の弱い風でもとにかく寒さが身に沁みる。C480mポコから南斜面を滑ったが、まあまあクラスト。沢のボトムについて登り返し、西寄りの斜面に変更して滑るとパウダーだった。風と太陽の微妙な加減でこうも雪質が変わるとは。。。。。

北斜面を滑るべく、再度登りかえしてc480mポコから樹林の北斜面に突入。いい雪でした。ここにも8人ほどの先行パーティーがいた。やはりBCブームなんですね。

幌加内峠から秩父別インター経由で高速をひたすら南下する。深川あたりで強い雪が降り始め、吹雪模様の中、新さっぽろについて60過ぎのオジサン達の極北旅行は解散となりました。

メデタシ、メデタシ。

# 登山報告書

